

「災害時安心ファイル」事業

実施主体 豊岡市障害者自立支援協議会

課題の背景・要因	課題の内容・現状	平成 24 年度の取組・成果
<p>平成 16 年の台風 23 号の水害時に、障害のある方が避難先で様々な困難を抱え、周囲も対応に戸惑う場面が多くみられ、災害時の障害者(児)サポート体制の問題が浮き彫りになった。</p>	<p>個人情報漏洩問題、地域のつながりが低下する中で、近所の住民がどんな障害・持病を抱えているのか把握することは容易ではない。また、障害のある方の中にはコミュニケーションが困難な方もいるため、救急時や災害時の支援方法について協力を得られるような体制作りが必要である。</p> <p>&lt;例&gt;</p> <p>○災害情報を受けても、周囲の状況が判断できず、適切に行動できない。</p> <p>○障害の特性によっては、困った状況にあっても自分の意思をうまく伝えられない。</p> <p>○避難所など日常と異なる状況の中でパニックに陥る。</p> <p>○上記のような状態の障害者に対して、周囲がどのように対応・支援をしたらよいか分からない。</p>	<p><b>【取組】</b></p> <p>平成 24 年 2 月、兵庫県の「H24 年度 地域づくり活動支援市町モデル事業」へ「災害時障害者サポートファイル事業」(NPO 法人セルフサポートいずし/豊岡市障害者自立支援協議会/豊岡市)として応募</p> <p>3 月の県主催公開プレゼンテーションを経て、補助金交付の決定を受けた。</p> <p><b>【成果】</b></p> <p>災害時に障害のある方が適切に避難し、避難先で周囲の理解を得てサポートが受けられるよう、「災害時安心ファイル」を製作した。</p> <p>災害時安心ファイルには、必要な情報(連絡先、医療機関名、服薬内容など)を記載する「防災連絡カード」と、障害特性や配慮事項を記載する「災害時安心カード」を挟んでいる。携帯しやすいように A5 サイズとし、日頃からの備えとして用意しておくべきもの(一般的な非難袋の中身だけでなく、障害に合わせて個人的に必要なものもリストアップ)も記載できる。</p> <p>なお、台風 23 号の水害時の教訓から、カードについては耐水性に優れた用紙を使用した。このファイルにより、障害特性や服薬等の情報を確認することで、適切で迅速な支援を行うことができる。</p> <p><b>【参画協働】</b></p> <p>ファイル製作段階で、関係機関・団体等が集まり協議することにより、地域課題が鮮明になり、ファイル製作後も障害者をはじめ要援護者の災害時支援についてさらに検討していくきっかけづくりができた。</p> <p><b>【「災害時安心ファイル」等の数量】</b></p> <p>A5 クリアファイル 9,000 枚                  災害時情報シート 7 種 40,000 枚(防災連絡カード 10,000 枚、6 種×5,000 枚=30,000 枚)製作</p>